

〔7月号目次〕

『汽水環境の松江堀川』魅力アップ協議会の活動	島根県河川課
静間川水系河川整備基本方針を国の「同意」を得て「策定」しました	島根県河川課
浜田川総合開発事業付替道路(黒沢安城浜田線)の開通式が行われました	島根県河川課

## 『汽水環境の松江堀川』魅力アップ協議会の活動

河川課企画調査グループ

### 協議会名変更しました！！

7月25日付けで松江堀川水環境協議会から『汽水環境の松江堀川』魅力アップ協議会に名称を変更しました。地域住民、観光客のみなさまの視点を取り入れ、松江堀川の魅力をもっと知ってもらえるような活動していきます。

### 生き物調査を実施しました！！

松江堀川は、遊覧船の運航により観光客や市民のみなさまに親しまれ、水辺を身近に感じていただいています。また、お堀としては全国的にも珍しい汽水であり、多様な生物が生息できる水環境を有しています。そんな松江堀川で生き物調査を実施しました。調査結果は以下の通りです。

種類	名称	数量(個体)	種類	名称	数量(個体)	
魚類	ウキゴリ	1	甲殻類	イソコツブムシ	多数	
	オイカワ	2		クロベンケイガニ	1	
	シンジコハゼ	5		アメリカザリガニ	1	
	スズキ	1		シラタエビ	3	
	セスジボラ	1		スジエビ	11	
	タイリクバラタナゴ	3		テナガエビ	3	
	ドンコ	2		ニホンイサザアミ	多数	
	ヌマチチブ	5		ヨコエビ類	1	
	フナ類	4		アメンボ	4	
	マハゼ	2		イトトンボ類幼虫	3	
	ミナミメダカ	5		シマアメンボ	2	
	フナ類	1		トンボ類幼虫	2	
	ヨシノボリ類	1		貝類	カワザンショウガイ	1
	メナダ	1			ヤマトシジミ	5
	モツゴ	1			エビモ	多数
ボラ	15	水生植物	ツツイトモ	多数		
両生類	トノサマガエル		1	マツモ	多数	
爬虫類	ミシシippアカミミガメ		30	オオカナダモ	多数	
	クサガメ	12				
	ニホンスッポン	1	合計	131		



実施状況



シンジコハゼ



ヤマトシジミ



左：セスジボラ、右：ボラ



スッポン



ミシシippアカミミガメ

外来種

## 生き物調査アドバイザーコメント

### 【島根県立宍道湖自然観ゴビウス 寺岡誠二】

外来種であるミシシippアカミミガメが多数生息しており、ニホンイシガメはまったく確認できなかった。外来生物により日本在来生物が衰退傾向にあると考えられる。

### 【宍道湖漁業協同組合 桑原正樹】

今回、環境学習の事前調査で、爬虫類・両生類・魚類・甲殻類・貝類など、多くの動物が確認された。

中でも、例えば魚類に目を向けると、15種が確認されている。

15種を、生活の仕方で分類すると、淡水域を主に生活の場にするものが6種類、汽水域や海水域を生活の場にするものが6種類、生活のなかで海と川とを行き来するものが3種類、それぞれ見つかっている。

こうした生物の豊かさは、川と湖や海とのつながりを学び、生物多様性の重要性を知る、身近な環境学習のよい材料となると思われる。

また、捕まえた生き物の日々の生活を考えると、隠れ場所や産卵場所、エサを食べる場所として、水草や石垣や砂地や泥場などの見え方も違ってくると思う。

今回は、時間の少ない中での簡単な調査で、今でも、こうして多くの種類の生き物が堀川で暮らしていることを知ることができた。

少年時代を堀川で遊んだものとして、多くの後輩の子供たちに、堀川の自然で遊び、生き物の知識を深めてほしいと思う。

## 2016 松江 共創・協働マーケットに参加しました

平成28年7月3日に行われた『2016 松江 共創・協働マーケット』に参加しました。

このマーケットはNPO、市民団体、行政（国、県、市）等がそれぞれの取り組みの分野の話をし、交流する場であり、協議会の活動についてアピールしました。

今後もこのようなイベントへの参加を通して、水環境の保全のための啓発活動を行ったり、官民協働での活動を目指していきます。

# 静岡川水系河川整備基本方針を 国の「同意」を得て「策定」しました

河川課企画調査グループ

県内の工事実施基本計画がある二級水系で、未策定であった静岡川水系河川整備基本方針について平成 28 年 7 月 20 日付けで国の「同意」を得て「策定」しました。

河川整備基本方針・・・国土(県土)全体のバランスを考慮し、長期的な観点に立って定める河川整備の目標。水系の将来計画を示したものであり、治水・利水・環境・維持管理等の基本事項に加え、基本高水、計画高水流量配分等を記載したもの

## 浜田川総合開発事業 付替県道 (黒沢安城浜田線)の開通式が行われました

河川課河川開発室



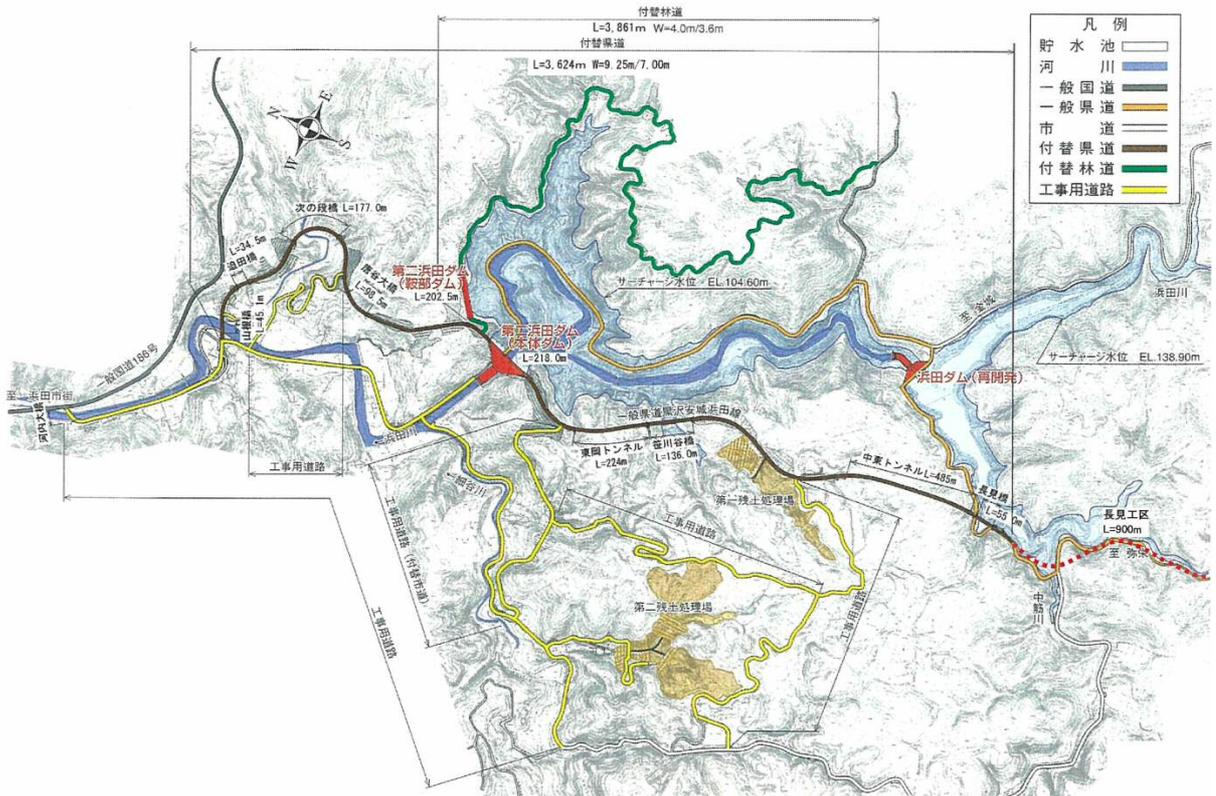
- ・ 事業期間  
平成 7 年度～平成 28 年度
- ・ 事業費  
約 70 億円
- ・ 供用延長  
3.62km
- ・ 道路幅員  
7.00m (車道 2.75m×2、  
路肩 0.75m×2)  
9.75m (車道 2.75m×2、  
歩道 2.50m×1、  
路肩 0.75m+0.50m)

去る 6 月 27 日に、浜田川総合開発事業の第二浜田ダム建設に伴う付替道路として整備していた、一般県道黒沢安城浜田線約 3.6km の全線が開通し、現地で開通式が行われました。

式には、地元、島根県、浜田市等の関係者約 50 名が出席し、テープカット、くす玉開きを行い、開通を祝いました。

この開通により、浜田市街地へのアクセスが向上し、地域の発展に寄与するものと期待されます。

# 事業計画図



当日の式典参加者には、第二浜田ダムのダムカードを配布しました。

また、この日に合わせて、一般の方への配布も開始しました。

ご希望の方は、第二浜田ダム管理所で配布しておりますので、おいでください。

(配布時間：9:00～17:00 (土・日・祝日を含む))

## 【編集後記】河川課 企画調査グループ 金村 拓也

今号では『汽水環境の松江堀川』魅力アップ協議会の活動」に関して記事にしました。生き物調査ではシンジコハゼやヤマトシジミ等の汽水・海水の生き物、スッポンやドンコといった淡水の生き物の両方が見られ、多様な生物が確認できました。その一方、外来種であるミシシippアカミミガメも確認されています。寺岡アドバイザーのコメントにもあったように、放置すると在来種への影響も出てきます。近くに寄ってきてもエサを与えないようにしましょう。

※注意：水生生物の採捕には許可申請が必要です。許可なしでの採捕は行わないでください。

さて、島根県河川課では、今後も引き続き、河川・海岸に関する話題を提供したいと思います。バックナンバーは河川課ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

編集者 島根県土木部河川課企画調査グループ

TEL : 0852-22-5647 FAX : 0852-22-5681

mail : [kasen@pref.shimane.lg.jp](mailto:kasen@pref.shimane.lg.jp)

河川課 しまねの河川と海岸だより HP : <http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/tayori/>